

3 社会

(1) 正答表

1							2															
問題番号	正 答					配点	通し番号	正答率 (%)	採点基準	問題番号	正 答					配点	通し番号	正答率 (%)	採点基準			
問 1	(1)	ウ					2	①	65.1	人の名のみ正解の場合に限り、中間点1点とする。	問 1	人の名	菅原道真					3	⑬	20.3		
	(2)	①	国際連合	②	南極	2	②	53.7	①		イ	②	ア									
	(3)	先住民	アボリジニ	位置	(あ)	2	③	48.5	完全解答		問 2	国の名	ポルトガル	記号	ア	4	⑭	42.2	国の名と記号両方正解の場合に限り、中間点2点とする。			
問 2	(1)	(正答例) 仏教や儒教(儒学)の教え(考え方)。					3	④	20.1	内容や表現が不十分な場合は、1点とする。	問 3	記号	イ					3	⑮	7.3	記号のみ正解の場合に限り、中間点1点とする。 ①については、「サハリン」も可。	
	(2)	①	フビライ=ハン	②	北条時宗	2	⑤	37.8	完全解答		問 4	①	フランス	②	ア	4	⑯					21.0
	(3)	①	イ	②	ア	③	ウ	3	⑥		32.2	完全解答	問 5	(正答例) 国際協調が進められ、軍事費がおさえられている。(23字)					5	⑰	21.3	
	古い → 新しい														問 6	資料 4	ウ	資料 5				ア
A					C	B																
問 3	(1)	語句	公共の福祉	記号	イ	2	⑦	45.7	完全解答	問 5	(正答例) 国際協調が進められ、軍事費がおさえられている。(23字)					5	⑰	21.3	・国際協調に関する記述<3点> ・軍事費がおさえられている、または減少していることについての記述<2点> 字数については、解答欄の枠内で答えるものとし、それを超えるものは認めない。			
	(2)	①	高等	②	地方	③	簡易	2	⑧		18.8	完全解答										
	(3)	記号 B, D, F					2	⑨	25.4		完全解答											
問 4	(1)	X	国後(島)	Y	色丹(島)	2	⑩	63.0	完全解答	問 6	資料 4	ウ	資料 5	ア	3	⑱	35.5	完全解答				
	(2)	語句	やませ			3	⑪	61.1	完全解答													
問 5	(1)	①	吉田茂	②	日米安全保障	2	⑫	30.1	完全解答	問 6	(正答例) 事業を始めたい人に、無担保(低金利)で少額の融資を行う制度。					3	⑱	9.8	内容や表現が不十分な場合は、1点とする。			
	(2)	沖縄県					2	⑬	90.8		「沖縄」も可。											
問 6	(1)	語句	金融	①	イ	②	ア	2	⑭	48.5	完全解答	問 6	(正答例) 事業を始めたい人に、無担保(低金利)で少額の融資を行う制度。					3	⑱	9.8	内容や表現が不十分な場合は、1点とする。	
	(2)	主権 (国家)					2	⑨	25.4	完全解答												

3							4													
問題番号	正 答					配点	通し番号	正答率 (%)	採点基準	問題番号	正 答					配点	通し番号	正答率 (%)	採点基準	
問 1	カ					3	⑳	36.9	Xのみ正解の場合に限り、中間点2点とする。	問 1	①	ク	②	キ	4	㉑	61.1	完全解答		
	問 2	イ					4	㉒		36.3	問 2	ウ					3	㉒	41.1	
問 3	X	エ					4	㉔	56.1	Xについては、解答欄の枠内で答えるものとし、それを超えるものは認めない。	問 3	X	首長	Y	議員	3	㉓	28.8	Xについては「知事」も可。 完全解答	
	Y	(正答例) 収入が不安定になる(9字)																		
問 1	内容	(正答例) 山が多い					3	㉕	45.5	内容のみ正解の場合に限り、中間点1点とする。	問 4	生徒 A			生徒 B	生徒 C	3	㉔	25.1	完全解答
	記号	ア																		
問 2	(1)					3	㉖	57.2	完全解答 左記の組み合わせのうち、1つが書かれていること。	問 5	ウ					4	㉕	55.4		
	あなたが選んだ発電方式		発電方式の名		(2)															
	A	水力(発電)	イ																	
問 3	(正答例) 降水量の多いところから水を運ぶ香川用水を建設し、農業に必要な水を確保できるようにした。					5	㉗	14.2	・国産の気候の特色(降水量)に着目した記述<3点> ・使用方法を捉えた記述<2点>	問 6	(1)	(正答例) 1990年と2017年を比べると、2017年の方が所得の再分配前の所得格差は大きくなっているが、所得の再分配後の所得格差には、累進課税などの所得の再分配により、大きな違いがみられなくなっている。					3	㉖	3.0	・所得の再分配前の所得格差が広がっていることについての記述<1点> ・所得の再分配の具体的な方法についての記述<1点> ・所得の再分配後の所得格差には大きな違いがみられなくなっていることについての記述<1点>
	B		C		原子力(発電)					ア										
										問 6	(2)	(正答例) 将来の世代に負担を残す					2			・将来世代の負担についての記述

(注) 1 採点基準に「漢字指定」とあるところ以外は、漢字の部分がかなで書かれていても正答とする。
 2 ①の問2(1)、問6(2)、②の問1、問2、問3、問5、③のA問3、B問1、問3、④の問6(1)以外は、中間点を認めない。
 3 その他正答表に示された事項以外のものについては、学校の判断による。

(2) 領域別正答率

指導領域	問題番号				平均正答率	
	1	2	3	4		
地理的分野	問1(1)、(3)、 問1(2) (註1)、 問4、 問5(2) (註1)	-	A 問1、問2、 問3 E 問1、問2、 問3	-	52.4%	
歴史的分野	古代、中世	問2	問1、問2、 問3	-	26.6%	32.6%
	近代、現代	問5(1)、 問5(2) (註1)	問4、問5、 問6	-	39.7%	
公民的分野	問1(2) (註1)、 問3、問6	-	-	問1、問2、 問3、問4、 問5、問6	34.7%	
全体					38.1%	

(注1) 問題によっては、指導領域が重複している場合がある。

(3) 義務教育段階の傾向や課題

義務教育段階における学力調査等から、北海道の中学生には、文章と図表を結び付けて必要な情報を見付けることや、文章に表れている見方や考え方を捉えることに課題がみられる。

○ 傾向や課題を踏まえた特徴的な問題 【大問4 問6(1)(2)】

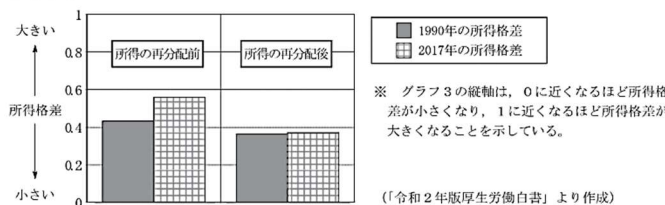
正答率(3.0%)
中間点(40.5%)

4

問6 下線部⑤について、次の(1)、(2)に答えなさい。

- (1) グラフ3は、1990年と2017年の、日本における所得の再分配前と再分配後の所得格差をそれぞれ示したものです。所得格差についてグラフ3から読みとれることを、1990年と2017年を比較して書きなさい。ただし、所得の再分配の具体的な方法に1つふれること。

グラフ3



- (2) 資料5は、5班の生徒たちが所得格差の解消について、授業でディベートを行うために準備したものの一部です。意見に対する反論の根拠として、 に当てはまる内容を、世代間の公平の視点から書きなさい。

資料5

意見 政府は、これまで以上に国債を発行し続け、歳入を増やして社会保障を充実させ、所得格差を縮小するべきである。

反論 政府は、国債を発行し続けることで所得格差を縮小する方法を見直すべきである。なぜなら、表を見ると、 ことになるからである。

表 国債残高の推移

	国債残高(億円)
1997年度	2,579,875
2007年度	5,414,584
2017年度	8,531,789

(「国債等関係諸資料」より作成)

1 出題のねらい

[問題の内容]

(1)は、グラフから読み取った情報をまとめ、既習事項と組み合わせて表現する力をみる問題である。

(2)は、文章と表から読み取った情報を社会的な見方・考え方を働かせながら思考し、説明する力をみる問題である。

[解答までのプロセス]

① (1)は、1990年と2017年の所得格差を比較し、所得の再分配前の所得格差について、2017年の方が大きくなっていることと、所得の再分配後の所得格差について、累進課税などの所得の再分配により大きな違いが見られなくなっていることを、それぞれ読み取る。

② (2)は、将来世代の負担について、財政の現状や少子高齢社会など現代社会の特色を踏まえて、財政の持続可能性と関連付けて考察し、世代間の公平の視点から説明する。

[関連する学習指導要領の領域と内容]

B 私たちと経済

(2) 国民の生活と政府の役割 イ(イ)

財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現すること。

2 解答の状況と分析

この問題の正答率は3.0%、中間点の取得率は40.5%であった。初見資料を読み取ることに加え、読み取った情報(所得の再分配前後の比較)と既習事項(所得の再分配)を組み合わせて表現することが難しかったと考えられる。

(4) 中学校における今後の授業の在り方

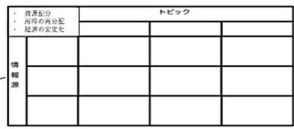


○ 授業実践例

公民的分野 【中学校 第3学年 社会】

「国民の生活と政府の役割」

～財政が果たす具体的な役割とは、どのようなものだろうか～

指導事項	B(2) 国民の生活と政府の役割：小単元2「財政及び租税の役割」 イ(イ)財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現すること。 [思考力、判断力、表現力等]
言語活動	・ 諸資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめたことを説明したり、それらを基に議論したりする活動

学習過程	(主な学習活動)	(指導上の留意点)
第一次	<p>① 「財政にはどのような働きがあるのだろうか」について、【資源配分】【所得の再分配】【経済の安定化】のそれぞれについて、教科書から具体例などをまとめ、ワークシートに記入する。</p> <p>② 「所得の再分配が生活に与える影響」について、諸資料を基に考察し、生徒それぞれがグループ内で発表した内容を、ワークシートにまとめる。</p>	<p>■ レポートやワークシートでは、例えば思考ツールを活用し、分かりやすく整理することが考えられる。</p> <p>(例) データチャート</p>  <p>■ 財政の歳入・歳出における内容や現状を具体的に引き上げ、財政が現役世代のみならず、将来世代をも含め、持続可能な社会の形成に寄与していることを、諸資料から理解できるようにする。 https://x.gd/tQYeH</p> 
第二次	<p>③ 「税金にはどのような種類があり、どのような働きがあるのだろうか」について、諸資料からワークシートに記入する。</p> <p>④ 「租税における効率と公正」について、所得税の累進課税制度と消費税の逆進性を例に、効率と公正に着目させ、社会的な見方・考え方を働かせながら思考し、ワークシートにまとめる。</p>	<p>■ 統計資料などを有効に活用しながら、租税の大まかな仕組みやその特徴にも触れ、国民生活に大きな影響力をもつ財政を支える租税の意義や税制度の基礎を理解できるようにする。 https://x.gd/9S578</p> <p>■ 納税の義務を果たすことの大切さを理解できるようにするとともに、税の負担者として租税の使いみちや配分の在り方を選択・判断する責任があることなどについて、理解と関心を深め、納税者としての自覚を養う。</p> 
第三次	<p>⑤ 「政府はどのような財政上の課題を抱えているのだろうか」について、財政の現状と課題を、諸資料からワークシートに記入する。</p> <p>⑥ 「国の歳出と税収の差が広がらないためにどうしたらよいか」を班ごとに調べ、まとめたことを全体で発表して議論する。</p>	<p>■ 財務省の財政教育プログラム「財務大臣になって予算を作ろう！」や、財政学習動画などを活用する。 https://x.gd/w5rYH</p> <p>■ 課題の探究については、一定の方法があるわけではないが、資料の収集と読取り、考察、構想とまとめといった手順が考えられる。その際、例えばディベートや議論、プレゼンテーション等を行うことが考えられる。</p>

○ 授業づくりのポイント

この単元では、財政及び租税の役割等について、諸資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめたことを説明したり、それらを基に議論したりする活動を行った。このように、生徒が、様々な社会的事象の関連や本質、意義を捉え、考え、説明したり、現代社会の諸課題の解決に向けて構想したりする際、現代社会の見方・考え方を働かせることによって、その解釈をよりの確なものとし、課題解決の在り方をより公正に判断したりすることができるような、学習活動の一層の充実が求められる。

(5) 高等学校における指導の在り方

高等学校では、公民科において、社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養うことが求められる。

また、特に必修科目である「公共」においては、①現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けること、②現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養うことが求められる。